

金曜コラム - 事前スカウトの物足りなさ

イム・ヨンソク (忠北大学校体育科)

"I guarantee you come to the University of South Carolina will be the smartest decision you've ever made"

"We want you, we need you, but the other thing is, you need us"

(訳注：サウスカロライナ大学に来ることが、あなたの今までに一番賢明な決断であることを保証します。私たちはあなたがほしい、私たちはあなたを必要とする、そしてあなたは私たちを必要とする。)

- 大学アメフトチーム監督のセリフ「映画ブラインドサイド (2009) より -

多くの大学のアメフトチームの監督がある選手を見るために、ある高等学校の運動場に集まった。家にも訪れた。優れた選手を募集するために、自分が属している大学の利点と提供できる様々な条件を提示する。大学への招請はおまけだ。NFL (National Football League) 選手マイケル・オア (Michael Oher) の話を基に製作された映画「ブラインドサイド」の内容である。

'スカウト (scout)'

優れた運動技能を持つ者を物色し抜擢することを意味する。技量が優れた選手を事前に調べて選ぶ一連の「選抜過程」である。チームのメンバーとしての役割を果たせる能力と将来の可能性を考慮して選手を発掘することである。

高校時代、様々な大学からスカウトを受けた。いくつかの大学の監督は家にもやってきた。私の選手としての将来、国家代表など、両親は彼らと様々な話を交わした。大学院進学を入学の条件として提示した。冗談半分で演劇映画科に入れてあげるという監督もいた。金銭的な支援も約束した。2000年同系進学措置が下された後には不可能になったが、1999年に大学に入学した私は体育系以外に志願が可能だった。

(訳注：同系進学措置は2000年から実施された大学入試制度で、体育特招生について体育系学科や系列のみ進学できるように限定して他の専攻学科に転科や複数専攻を選択できないようにした)

このような学生選手選抜方式は2018年に全面禁止された。優秀選手選抜のための代価金品の提供と資格未達者の「はめ込み式」選抜などの問題がスポーツ界を越えて社会問題として台頭したからだ。大学スポーツ評議会 (Korea University Sport Federation) 運営規則集の中で学生選手の選抜に関連した内容は、以下の通りである。

第19条 (入試不正行為の禁止) ①大学は将来の学生選手の入学を誘引したり入学させる目的で直接または卒業生・後援等の関係を持っている団体や個人を介して予備学生選手やその家族、または所属学校に、次の各号のような行為をしたり、約束してはならず、これをさせ、又は要求してはならない。

1. 各種金品や経済的利益の提供
2. 予備学生選手のはめ込み式選抜
3. 寮や団体合宿の公共住宅のような通常の提供範囲を超えた住宅などの無償利用の提供
4. 予備学生選手の学業資格要件を満たすための学問サポートサービスの提供

5. 予備学生選手所属学校のスポンサーシップの提供

6. 他の学生選手選抜の公正性を害する利益提供

②協議会は第1項の入試不正行為が行われた大学に対して、遂行する事業で不利益を与えることができ、第60条以下に基づく賞罰委員会で懲戒することができる。<改正 2018. 2. 6>

第20条（入試前の運動能力測定の禁止）大学は公開試験の前に、大学内外のすべての場所での予備学生選手の運動能力を測定するためのキャンプやクリニックを開催することができない。ただし、外部機関や組織が主催する行事が大学の外で実施され、また、そのイベントがすべての大学に公開される場合には、その例外とする。

大学のスポーツ協議会は学生選手選抜をスカウティング（scouting）とリクルーティング（recruiting）の概念で差別化して説明する。スカウティングは「事前に特定の選手の合格をあらかじめ決めておくこと」を意味する。リクルーティングは大学が予備学生選手を「観察し、入学関連情報を提供するために接触する過程と活動」と規定する。

慣行的に進めてきた金銭の提供、抱き合わせ提供などの不法選手誘致活動を制限しなければならないという意味だ。「事前に学生選手を特定（scout）すること」ではない「入学窓口を通じた学生選手募集（recruit）」方式を強調する。大学のスポーツ協議会はこれを補助するために、毎年「全国大学体育特技者 大学入試選考要綱」も発刊する。

不正を未然に防止し、公正な入試諸般を構成するための全体的な「視点」は同意するが、「スカウティング」と「リクルーティング」の規定方法の物足りなさは残る。二つの単語の規定の違いが不明だからだ。「事前に行われる活動」は二つの単語の共通点である。

「事前に特定の選手の合格をあらかじめ定めておく行為」と「予備学生選手を観察し、入学関連情報を提供する活動」の違いは何だろうか？ アマチュアリズムに立脚して学生選手の選抜だけ正常に行われれば選手の選抜過程は正常化することができるのか？ 物足りなさが残る。現場の音が適切に反映される必要がある。二つの単語の共通点を覚えておこう。事後に行われる選抜活動はない。

01 ソウル新聞 2018. 11. 5 【 ショートトラック‘ノーゴールド’ショック 】

「世界最強」韓国ショートトラック代表チームが国際スケート競技連盟（ISU）ショートトラックワールドカップ第1戦で初めて「ノーゴールド」屈辱を受けました。去る2月平昌冬季オリンピックの後、政府から特定監査を受け、最近管理団体に指定された大韓スケート連盟の行政的混乱が選手たちの訓練と成績にも影響を及ぼしたという分析が出ています。

代表チームは5日、カナダのカルガリーで開かれた大会最終日男子1000m決勝で朴チウォンが1分24秒868でフィニッシュラインを通過してシャオアン・リュウ（ハンガリー・1分24秒818）に続いて銀メダルを首にかけました。今大会から初めて導入された混成リレー決勝で崔ミンジョン - 金イェジン - 李ジュンソ - 朴チウォンは2分38秒827の記録で銅メダルを追加しました。男女リレー決勝でも韓国は銀メダルを収穫しましたが、ついに「金色」のニュースは伝えられませんでした。先に崔ミンジョンとシム・ソクヒなど女子「ワンツーパーチ」も個人戦で失格して不戦となり、金メダルの獲得に失敗しました。結局、韓国は今シーズン初の大会を銀メダル4個・銅メダル2個で終えました。オリンピックのすぐ次のシーズ

ンは選手たちの目標意識が薄れて良い成績を期待していないことを考慮しても、韓国がワールドカップ大会で金メダルを1個も取れなかったのは今回が初めてです。

成績不振の最大の原因として、今年ゴタゴタが絶えなかったスケート連盟が挙げられます。スケート連盟は平昌でスピードスケート代表のノ・ソニョンが女子チームパシュート試合中に「いじめ論議」を経験した後、世論の批判を受けました。以降の監査を通じて、特定の人物の職権乱用、各種不正、派閥問題が水面上に明らかになり、関連する人物が解雇されて、メインスポンサーであるサムスンも連盟から手を離すなどの組織が瓦解しました。この過程で、代表チームの選手たちの訓練も延期されるなど、大きな影響がありました。アン・サンミ MBC 解説委員は、「ワールドカップ第1戦のための合宿は、遅くとも5月初めに入らなければならないのに、今年は8月初めに開始したと聞いている」とし「今回の大会のための訓練時間も絶対的に不足しただけでなく、代表者が変わり、選手たちの苦情窓口も消えるなど慌しい雰囲気だったので、訓練に集中することができない環境だったこと」と指摘しました。

韓国ショートトラックが「世界最強」の座を取り戻すにはしばらくの間、厳しい時間を経なければならないようです。アン委員は「2022年の北京オリンピックを狙った中国は平昌が終わるとすぐに積極的に投資をして効果が現れ始めたのに対し、韓国は平昌直後の混乱期を経た」とし「選手たちの技量はとても良いので、連盟が正常化されて目標意識がよみがえれば十分昔の成績を回復することができる。評価は、今季最後の大会である世界選手権が終わった後でも遅くない」と言いました。

<https://sports.news.naver.com/general/news/read.nhn?oid=081&aid=0002954239>

02 世界日報 2018.11.8 【 女子カーリングチーム・キムの選手たち 「金ギョンドゥと金ミンジョン監督から暴言と悪口～」 】

韓国カーリング史上初の五輪銀メダルを獲得した元女子カーリング代表チーム・キム（金ウンジョン、金ヨンミ、金ギョング、金ソニョン、金チョヒ）が金ギョンドゥ前カーリング連盟会長職務代行と金ミンジョン監督を暴露しました。

8日夕方放送された SBS 報道番組「ニュース 8」では、平昌五輪カーリング女子前国家代表チーム・キムのインタビューが公開されました。

平昌オリンピックの後、チーム・キムの活躍でカーリングブームを続けていくことが期待を集めたが、去る6月江陵カーリングセンターで開かれた会長杯大会に不参加となりました。

続いて国家代表選抜戦も出場過程から問題が生じました。

チーム・キムの主将である金ウンジョンは「(金ギョンドゥ) 教授が選抜戦を迫ったが、選抜戦の準備について話さなかった。前日に申込書を出さなければならないが、今まで大変だったので今年は休んだらどうかと言った」と話を切り出しました。

これはスポンサーとの契約問題のため出場申込締切当日に急いで出場を決めたが、準優勝を占めながらも代表チームから脱落しました。

チーム・キムは最終的に今の指導部の下では、これ以上の訓練を継続することができないと体育連盟に要請文まで出しました。

この全ては金ギョンドゥ前連盟会長職務代行にありました。平昌オリンピックの時、チーム・キムの金ミンジョン監督は韓国カーリングの父と呼ばれる金ギョンドゥ前連盟会長職務代行の娘です。

金ギョンエ選手は金ミンジョン監督について「カーリングをする人なら誰でも（金ミンジョン監督の）実力が不足していることを知っている」と言いました。

またチーム・キムによると平昌五輪当時、金ミンジョン監督はよく訓練を休み、訓練は選手たちだけでした。

金ミンジョン監督の訓練不参加について問題提起する選手には金ギョンドゥが暴言を浴びせたと。金ヨンミはこれに対して、「（金ギョンドゥが）確かに X のような悪口を言った。私の前で同じ選手に悪口を浴びせたのがショックだった」と明らかにしました。

元女子カーリング国家代表チーム・キムの選手たちが体育連盟に提出した要請文で、金銭的な問題も提起しました。賞金がいくらなのか、どこに使用されたのか見たことも聞いたこともないとし、ただ金ギョンドゥの個人口座を介して金が運営されていると言いました。

元女子カーリング代表チーム・キムは金ミンジョン監督と金ギョンドゥの独断的な指導体制から脱し、ひたすら運動のみに力を注ぎたいと話しました。

一方、金ギムギョンドゥは「ニュース 8」で「暴言と人権侵害のどちらも無かった」という立場を明らかにしました。

<https://sports.news.naver.com/general/news/read.nhn?oid=022&aid=0003317239>

03 スポーツ東亞 2018. 11. 8

【 バドミントン国際大会中に監督・コーチに解任通知 】

韓国バドミントン国家代表チームは現在、中国福州で開かれている中国オープン選手権大会に参加しています。しかし、カン・ギョンジン監督と 6 人のコーチはバドミントン協会から文字メッセージで「11 月 23 日に契約が終了する」という通知を受けました。大会に参加している選手たちは大きく動揺しています。代表チームは 2020 東京オリンピックに向けて、若い選手たちに世代交代が行われた状態です。連続性のあるチーム運営が必要ですが、協会は 2018 ジャカルタ・パレンバンアジア大会（AG）の成績不振の責任を監督とコーチングスタッフに転嫁し、一括契約終了を決定しました。

これに先立ちバドミントン協会の朴ギヒョン会長は AG 終了直後、代表のコーチングスタッフに辞表提出を要求しました。契約期間は 10 月 31 日まででしたが、これまで一般的に代表のコーチングスタッフは在任期間の活動を総合的に評価して、終了前に再契約するかどうかを決定してきました。年中、国際大会が続くので監督とコーチエントリー受付を大会開始前に受ける必要があるためです。

しかし、現代表チームのコーチングスタッフは、その後何の追加の説明も聞くことができないまま国際大会で選手を導いていて、青天の霹靂となったわけです。

葛藤は AG 代表選抜の過程で始まりました。コーチングスタッフは世代交代の過程でベテランの選手たちの役割が重要であると判断し、李ヒョンイル（MG セマウル金庫）、李ヨンデ（ヨネックス）などの選抜を協会に要請したが公式スポンサー用品の使用の問題で拒絶されました。女子選手たちもコーチングスタッフの意見とは異なり、世界ランキング上位選手たちが大挙、除かれました。彼女たちの多くは大きく失望し太極マークを返却しました。

現コーチングスタッフは、ベテランと若手選手の新旧の調和で 2017 世界混合団体選手権優勝を果たしたりしたが、2018 AG は 20 人のうち 18 人が初の総合大会であるほど、世代交代が急激に行われました。この

過程で、コーチはシード割り当てが不利だと協会に強く反発しました。

オリンピックの目玉種目に選ばれたバドミントンは現在大きな危機を迎えています。個人スポンサー用品の使用が許可されず、スター級選手が大挙代表チームを離れました。2009年から代表チームに年間数十億ウォンを後援していた台湾ブランドのビクターは、最近の成績不振などの理由で契約終了を通知した状態です。

<https://sports.news.naver.com/general/news/read.nhn?oid=382&aid=0000687211>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fgep@jarl.com